<u>QND による「GOM Player」検出/</u> 起動制御を実行する際の手順書



http://www.quality.co.jp/ 更新日:2014/01/24 対象読者:QND 管理者

注意

〇本ソリューションは事前に十分ご検証の上、ご利用ください。
 〇本書に記載された情報を利用した結果については保証いたしかねます。あらかじめご了承ください。

目次

1	. 「GOM Player」がインストールされたホストの確認	. 3
2	. アプリケーション DB のインポート	. 8
	2-1 アプリケーション DB のインポート	. 8
3	. 「GOM Player」の起動制御	10

1. 「GOM Player」がインストールされたホストの確認

本章では、GOM Player がインストールされているホストの確認手順をご案内します。 以下の手順に従って、「GOM Player」がインストールされているホストを確認してください。

- ご注意:確認にはソフトウェアインベントリのアプリケーションの追加と削除情報を利用するため、 ソフトウェアインベントリを更新した状態で作業されることをお勧めします。
- 手順1:QND コンソールの「グループ/フィルター」より、「作成」をクリックします。

	ホーム	タスクル	スケジュール	ホスト	グループロー	(11/9-	設定
Apple 2 and	収集/集行 台		レモート 9 リモート 9 リントロール	いまた。)御 画面更新 更新	です。 作成 クループ	₩ (作成
יד (i)	ラートがあり	ません。	アラートー	覧を表示			
タスク			₽ グルー	プロイルター	ą.	ホスト名	

手順2:名前)	C "GOM Player"	と入力後、	「AND グループの追加」	をクリックします。
- 1 //尻 単・ / 日 同川 (

	フィルタの設定変更	x
名前: GOM Player		
ANDグループの追加(G) 条件の追加	II(A) 肖耶徐(D) プロパティ(P)	ОК + +уди

手順3:「条件の追加」をクリックします。

		フィルタの設定変〕	E		x
名前: GOM Player					
ANDグループ					
ANDグループの追加(G)	条件の追加(A)	肖川除(<u>D</u>)	プロパティ(<u>P</u>)	ОК	キャンセル

手順4:下記を設定後、「OK」をクリックします。

インベントリの種類: ソフトウェアインベントリ 使用するインベントリ: 保存先と同じ 項目名: アプリケーションの追加と削除 任意の文字列を入力: ON 比較する文字列・値: GOM Player 条件: 含む

·スが必要です。
-

条件設定 ×
「 インベントリの種類
ソフトウェアインベントリ
使用するインベントリーー
●保存先と同じ
◎タスク指定
条件設定
項目名
アプリケーションの追加と削除
比較する文字列・値 📝 任意の文字列を入力
GOM Player 💽
条件
含む 🖃
□アルファベットの大文字小文字の区別をする
ОК + +уъл

手順5:フォルダの作成画面にて、「OK」をクリックします。

フィルタの設定変更	x
名前: GOM Player	
ー MDグループ 条件設定のフトウェアインベントリ:アプリケーションの追加と削縮(GOM Player/含む)	
ANDグループの)追加(G) 条件の)追加(A) 賞収余(D) プロパティ(P) OK	キャンセル

手順 6:作成したフィルターを右クリックして、メニューより「フィルタの更新」をクリックします。



手順7:フィルターの更新後に、作成したフィルターをダブルクリックして表示されるホストを確認します。



2. アプリケーション DB のインポート

本章では、QND コンソールで GOM Player 用アプリケーション DB ファイルを取り込む手順をご説明 します。

2-1 アプリケー<u>ション DB のインポート</u>

手順1 QND コンソールを起動し、ログインします。

※ 注意:システム管理者権限でログインする必要があります

手順 2 アプリケーションメニューから[インポート/エクスポート]-[アプリケーション DB のインポー トーを選択します。



[ファイルを開く]ダイアログが表示されます。

手順 3 アプリケーション DB ファイル「Player_APPDB_J_20140124.adb」を指定し、[開く]ボタン をクリックします。

ファイルを開く	And in case of the local division of the loc		<u>? ×</u>
ファイルの場所(1):	🗁 program	- 3 🕫 🖻	• 📰
Player_APPDB	_J_20140124.adb]		
 ファイル名(N):	Player_APPDB_J_20140124.adb		開((0)
ファイルの種類(工):	AppDB Files (*.adb)	•	キャンセル

アプリケーション DB 一覧に「Player_APPDB_J」が表示されます。



以上で、アプリケーション DB のインポートは終了です。

「GOM Player」の起動制御 3.

本章では、「GOM Player」の起動制御の手順をご説明します。 「GOM Player」の起動制御には、前章でインポートしたアプリケーション DB を使用します。

手順1 QND コンソールのアプリケーション DB 一覧から[Player_APPDB_J]を選択します。 ホスト一覧に、ホストごとのアプリケーション DB の設定情報が表示されます。

		QND	Statement of	/システム管理者]		x
🖤 ホーム タスク	/スケジュール ホスト	グループ/フィル	ター 外部メデ	ィア制御 アプリケ	ーションDB 設定 ツーノ	ılı
於 新聞	示 リモート 外部メディア コントロール	7制御 画面更筆	 	合帳管理ソフトウェア	 記布[CPU5/センス内] 記布[無制限] 回収 	 ●更新 ● 設定変更
間	単操作	更新	77!	ルケーションDB	12-10	ホストごとの設定
🤨 アラートがありません。 🛛	アラート一覧を表示					
🜍 アプリケーションDB 🛛 🕂	ホスト名 0	lar 転送 北~	-ID インストール	実行可能 メッセ	ージ タスク 使用時間	インストール/起動制限
(注) 名前			- ×	O ×	×	×
Player_APPDB_J			- ×	O ×	×	×
<u>i</u>	2		- ×	O ×	×	×
<u>v</u>	-		· x	0 ×	X	x
OF.	-		· č	Ŏ Š	X	X
V ^r			Ĉ.	ŏ Ĵ	X	Ĵ.
	-			<u> </u>	· ^	^
						1.1
282 7777 2300				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
表示数:7 QNDホスト数:	7 SNMPホスト数:0 ス	マートデバイス数:	: 0 アクセス数: 0) 最大数:2		्रती

手順2 ホストー覧からアプリケーションの起動制御を設定するホストを選択します。 複数のホストを選択することが可能です。 全てのホストに対して、起動制御設定を行うことを推奨します。

ホスト名 🔺	ClientL	転送	⊐Ľ°−ID	インストール	実行可能	メッセージ	タスク
GRY159- S	5		-2222	1.2	0	×	
💭 GRY160- 🖂	5				0		1000005
GRY161- 😒	3				0		Same -
🗖 GRY162- 🖂	5				0		
💭 GRY163-	3				0		1.5 1.11. 2
GRY164-]			×	0	×	

手順 3 [アプリケーション DB]メニューから[ホストごとの設定]・[設定変更]をクリックします。

2.168.11.61/adı	2.168.11.61/administrator/システム管理者] _ ロ ×								
ホスト グル	ープเフィルター 🧾 🤈	アプリケーションDB	設定 ツール						
✔ 作成	台帳管理ソフトウェフ	 記布(CPUライセン 記布(無制限) 回収 	● 更新 ● 更新 ● 設定変更						
マブリ アブリ	レ パケーションDB	그년~10	ホストごとの設定						

[アプリケーションに関するホストのプロパティ]が表示されます。

手順 4 [編集]ボタンをクリックして、[実行管理関連]・[実行可能(実行禁止時のメッセージ内容はアプリケーションのプロパティに設定)]のチェックボックスを外し[更新]ボタンをクリックします。
 [更新]ボタンをクリックすることでオンラインのホストに即座に設定が反映されます。

アプリケーションに関するホストのプロパティ 🗙	アプリケーションに関するホストのプロパティ 🗙 🗙
コピーID コピーIDが設定されていない場合に アプリケーションが実行された場合の動作:	コピーID コピーIDが設定されていない場合に アプリケーションが実行された場合の動作:
実行制御 (●アプリケーションを実行 ○実行しない)	実行制御 ●アブリケーションを実行 ◎実行しない
 配布・回収 ・配布しない ・CPUライセンス範囲内で自動的に配布 ・無制限に配布 	配布・回収 ●配布しない ○CPUライセンス範囲内で自動的に配布 ○無制限に配布
コピーIDが設定されている場合に アプリケーションが実行された場合の動作:	コピーIDが設定されている場合に アプリケーションが実行された場合の動作:
 実行制御 ●アブリケーションを実行 ○実行しない 	実行制御 ・ アプリケーションを実行 ②実行しない
 龍布・回収 ● なにもしない ○コピーDを回収 	 配布・回収 ● なにもしない ◎ コピーIDを回収
実行管理関連	実行管理関連
 ・実行可能く実行禁止時のメッセージ内容は アブリケーションのプロパティに設定) ・ ・ ・メッセージ表示 ・ ・ くメッセージ内容はアプリケーションのプロパティに設定) ・ ONDIージェントを起動 ・ 	実行可能(実行禁止時のメッセージ内容は アプリケーションのプロパティ(:設定) ○(メッセージ内容は、 ッケーションのプロパティ(:設定) ○(NDIージコントを走 カ
タメク格: ・ アプリケーション使用時間を測定 ・	タスク名: アプリケーション使用時間を測定
 インストール関連 □インストール制限 	インストール関連
編集 更新(U) キャンセル	OK 更新(U) キャンセル

手順5 設定状況を確認します。

実行を禁止したホストはホスト一覧上の[実行可能]列が × になります。

ホスト名	ClientL	転送	JL°-ID	インストール	実行可能	メッセージ	925
💭 GRY159	-)			×	×	×	
💭 GRY160-	.) [×	×	×	
💭 GRY161-	-) (<u>177777</u>	×	×	×	
🛒 GRY162-	.) (×	×	×	
GRY163-	-) (×	v.	×	

画面を更新し、[転送]列に 〇 が表示されれば、そのアプリケーション DB の設定はホストに 反映されています。

ホスト名	ClientL	転送	٦Ľ°
🚍 GRY163- 🚽 J		0	
a course a			

ヒント オフラインのホストに対して、次回オンライン時やログオン時に反映させるには 上述の手順では[更新]ボタンをクリックしてもオフラインのホストに対しては反映できません。別 途タスクを作成し、スケジュール実行する必要があります。

手順 1 [全機能タスク]で、[全アプリケーション DB の設定をホストに転送]チェックボックスにチェックを付けたタスクを作成します。



手順 2 対象のホストに、上記タスクをスケジュールします。

その際、[高度なスケジュール設定]を以下のように設定します。

- ・[実行に失敗した場合再び実行を試みる]にチェックを付ける
- ・[間隔]、[回数]は任意の数値を入力
- ・[上記の条件で失敗した場合次回ログオン時に実行を試みる]にチェックを付ける

※それ以外の項目はデフォルトで問題ありません



ヒント ホストでの起動制御の動作について

ホスト上で対象のアプリケーションを実行しようとした場合、起動が抑制されメッセージが表示されます。

表示されるメッセージはカスタマイズできます。

ヒント 起動制御時のメッセージをカスタマイズするには

対象のアプリケーション DB の[アプリケーション DB のプロパティ]を表示し、[実行管理]タブから 変更します。

ヒント 起動制御を解除するには

[アプリケーションに関するホストのプロパティ]ダイアログの[実行管理関連]-[実行可能(~)]チェ ックボックスにチェックを付け[更新]ボタンをクリックすることで解除します。

┌実行管理関連
▼実行可能(実行禁止時のメッセージ内容は アプリケーションのプロパティに設定)
□ ^{メッピージ} マスト (メッセージ内容はアプリケーションのプロパティに設定) □ QNDエージェントを起動
タスク名:
「アプリケーション使用時間を測定
1 シストール制限
OK 更新(U) キャンセル

以上で、不正アプリケーションの起動制御は終了です。